

議会だより



打ち勝とうコロナに!!

156号

令和2年11月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 9月議会で決まったこと、臨時議会報告 …………… 2～3ページ
- 決算特別委員会報告 …………… 4ページ
- 一般質問（8名） …………… 5～12ページ
- 委員会報告 …………… 13ページ
- 組合議会報告、政務活動費、編集後記他 …………… 14ページ

ス対策と財源確保

令和2年奈義町議会第3回定例会提出議案

種別	付 議 案 件	結 果
条 例	奈義町総合計画・総合戦略検証委員会設置条例	原案可決（全員一致）
	奈義町課・室設置条例の一部を改正する条例	原案可決 （賛成8、反対1）
	奈義町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 （賛成8、反対1） 賛成討論：中井 反対討論：森藤
	奈義町手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決（全員一致）
	奈義町の財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 （賛成7、反対2）
	奈義町子育て等支援施設設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決（全員一致）
	奈義町議会委員会条例の一部を改正する条例	〃
補正 予算	令和2年度奈義町一般会計補正予算（第5号）	原案可決 （賛成8、反対1） 賛成討論：定森 反対討論：森藤
	令和2年度奈義町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 他 特別会計6件、公営企業会計1件（別表参照）	原案可決（全員一致）
決 算	令和元年度奈義町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成8、反対1） 賛成討論：中井、定森 反対討論：森藤
	令和元年度柿財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成8、反対1）
	令和元年度奈義町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 他 特別会計7件、公営企業会計2件（4ページ参照）	認定（全員一致）
契約	奈義町文化センター空調設備改修工事請負契約の締結について	原案可決（全員一致）
報 告	令和元年度奈義町の財政健全化判断比率の報告について	報告のみ
	令和元年度奈義町の公営企業資金不足比率の報告について	〃
	奈義町が出資している法人の経営状況について	〃
そ の 他	奈義町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決（全員一致）
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	森藤 節雄 氏（豊 沢） 鷹取ひとみ 氏（中島東）
請 願	地方財政の充実・強化を求める請願書 提出者：奈義町職員組合 執行委員長 二宮直基	採 択
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請について 提出者：岡山県教職員組合美勝英支部 支部長 酒井栄治	〃
意 見 書	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出について	原案可決（全員一致）
	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（案）の提出について	〃
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（案）の提出について	〃
その他	所管事務等の調査について	〃

9月定例会議会は9月8日から25日まで18日間行われ条例7件、補正予算9件、決算12件、契約1件、報告3件、請願1件、陳情1件、意見書3件、その他3件、計40件を審議し決定。8名の議員が一般質問を行いました。

9月 定例議会

令和2年
9月8日～25日

コロナウイルス

《補正予算》

会	計	補正額	予算総額	
一 般	5号	5億3,500万円	62億600万円	
国民健康保険特別	2号	591万円	7億541万円	
豊並財産区特別	1号	12万円	722万円	
分譲地造成特別	1号	4万円	7,504万円	
柿財産区特別	1号	20万円	770万円	
介護保険特別	1号	2,760万円	8億5,200万円	
後期高齢者医療特別	1号	425万円	8,925万円	
津山圏域東部衛生施設組合清算特別	1号	53万円	5,437万円	
下水道事業	1号	資本的収入及び支出	400万円	1億7,660万円

※万円未満は四捨五入

《条例》

○奈義町総合計画・総合戦略検証委員会設置条例
奈義町まちづくり総合計画及び奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策の効果等の検証及び見直し

○奈義町職員給与に関する条例の一部を改正する条例
勤勉手当に反映される期間の改正と再任用

○奈義町総合計画・総合戦略検証委員会を設置するもの。
に係る提言等を行うため、奈義町総合計画・総合戦略検証委員会を設置するもの。

職員に関する規定を追加するもの。
(総務常任委員会付託。関連記事13ページ)

○奈義町課・室設置条例の一部を改正する条例
こども園・中学校建設推進室を設置するもの。

○奈義町議会委員会条例の一部を改正する条例
まちづくり常任委員会の所管に、こども園・中学校建設推進室を追加するもの。

《意見書》

○地方財政の充実・強化を求める意見書(案)の提出について
人口減少・超高齢化

にともなう社会保障費の増大、新型コロナウイルス感染症で疲弊した地域経済の回復など、地方の財政需要が増加することは必然であることから、令和3年度の政府予算と地方財政についての充実・強化をもとめるもの。

臨時議会報告

10月16日、第3回臨時議会が開かれ、全ての議案を原案のとおり可決した。

○一般会計補正予算

・歳入歳出補正額
2000万円追加

・歳入歳出総額
62億2600万円

こども園建設用地のかさ上げに関する予算等。反対討論・森藤政憲議員(賛成6、反対3)

○なぎチャイルドホーム改修工事請負契約の締結

・契約金額
7414万円

・契約の相手方
森安建設株式会社

(全員一致)

○物品売買契約の締結

小中学校にタブレット420台を購入するもの。

・契約金額
2198万5480円

・契約の相手方
株式会社岡山支店

(全員一致)

決算特別委員会報告

9月15日、16日、議員全員と町長、副町長、教育長、各課・室長出席のもと、令和元年度の各会計決算を審査する特別委員会を行った。

※万円未満四捨五入

会 計	歳 入	歳 出	審査結果
一 般	48億2,217万円	44億1,219万円	認定（賛成8、反対1）
特 別 会 計	歳 入	歳 出	審査結果
国民健康保健	6億8,149万円	6億4,382万円	認定（全員一致）
介護保険	8億3,200万円	8億1,252万円	〃
後期高齢者医療	8,151万円	7,579万円	〃
豊並財産区	741万円	92万円	〃
柿財産区	759万円	408万円	認定（賛成8、反対1）
分譲地造成	6,152万円	128万円	認定（全員一致）
土地取得	3億3,518万円	3億3,384万円	〃
下水道	3億859万円	2億5,509万円	〃
津山圏域東部衛生施設組合清算	9,419万円	4,012万円	〃
公営企業会計	収 入	支 出	審査結果
上水道事業	収益的 2億2,928万円	収益的 2億1,433万円	認定（全員一致）
	資本的 1億2,102万円	資本的 1億6,895万円	
工業用水道事業	収益的 944万円	収益的 697万円	〃
	資本的 0万円	資本的 0万円	
計	27億6,922万円	25億5,771万円	

主な質問・答弁は、

質問：地方交付税について、基準財政需要額がどのように国に算定されているのか、町としては把握しているか。

答弁：積算の内訳を町の方でも計算し直すので、把握はしている。

質問：旧東部衛生施設組合管理費について、今後も毎年この程度の金額が管理費として必要なのか。

答弁：建物、敷地を管理する必要があるため、施設がある限り管理費は必要である。

質問：豊沢住宅跡地周辺の、総合的な計画について今後の方針は。

答弁：こども園、中学校の整備が先なので、すぐにはできないが、分譲地や賃貸住宅を計画している。

活用しやすくするために、先に道をつくりたい。

慎重に審査した結果、いずれも認定することに決定した。

Let's beat CORONA!

8議員が一般質問



鷹取 渡 議員

Q コロナウイルス対策で町の財政への影響は

A 健全な財政状況は、維持できる

質問 全世界に蔓延している新型コロナウイルス感染症は、現在も終息に向かっていないとは思われない。

奈義町は、国・県の交付金や町の財政調整基金を取り崩して、幅広い感染症対策事業を行い、コロナ不況で困っている事業者や町民は大変助かっているが、コロナの影響が本年度で収まるとは限らない。今後の町の財政について伺う。

答弁 町長 コロナウイルス感染症は、すぐに終息しないと思う。感染症対策事業は、交付金・寄附金・財政調整基金を使い対応している。

財政調整基金は、今日のような疫病や大災害など不測の事態に対応するためのものであり、貴重な財源を感染防止・社会生活・経済活動への影響を最小限に留めるために有効に使いたい。令和元年度末残高17億3000万円の基金のうち、2億円程度を活用したい。基金が2億円減少しても、町の健全財政は維持していけると思う。

と思う。

質問 緊急対策事業が多く実施されているが、その評価や検証は考えているか。また役場の職員は通常の業務の上に、感染症対策事業に携わっているが、オーバーワークになっていないか。

答弁 町長 ほとんどの事業が進行中であるため、進捗状況なども踏まえて検証を行いたい。

また事業者アンケートや行政地区懇談会などで、意見を伺いたい。

多岐にわたって事業を実施しているが、現在2名を臨時採用し、大学生のアルバイトも取り入れ、職員の業務の負担軽減を図っている。

Q GIGAスクール構想※の体制づくりは
A 教職員の研修を進めている

質問 小・中学校の児童生徒全員に、パソコン端末の

タブレットが与えられ、来年度から新しい授業が始まる。次世代を担う子どもたちには、パソコン技術やインターネット等は避けて通れない。最新機器が宝の持ち腐れになってはいけない。指導体制は整っているか。



小・中学校に配布されるタブレット

答弁 教育長 現在、今年度内の高速ネットワークとタブレット端末整備の準備を進めている。個別最適化され、創造性を育む教育を旨とし、岡山県教育委員会とも連携し、多くの体験や実技研修を重ねている。

※GIGAスクール構想
1人1台の端末と高速ネットワークを整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性育む教育を持続的に実現させる構想。

Q 観光ビジネスを軸とする町へ



上原 伸介 議員

A まずは暮らしやすい町をつくる

質問 自治体とは「地場産業を軸とした経済」と「そこに暮らす住民の生活を支える経済」という2つの市場が開かれることで成り立っている。この2つがバランスよく成長することで、まちの更なる魅力を生み出すことにもつながる。つまり、暮らしやすい・住みやすい町を続けていくためには、自治体が生み出す「自力の財力」が中心となることが大切である。

一方、人口減少が進む現代においては、国や県からの交付金や補助制度など、「他力による財源」に頼らざるを得ないという側面もある。しかし、これは安定性が担保されたものではない。安定した単独町政を続けていくためには、自力の経済力の強化が必須だと考える。

町長はどのような産業に力を入れることで、この財力確保に努めていく考えか。

答弁 町長 あらゆる産業を維持発展させていこうと考えている。そのためには



交流人口を増やすために

人口維持が必要であり、とりわけ労働人口の確保に努めていくことが大切。

行政の仕事は「お金を再配分すること」であると考える、暮らしの満足度の向上を目指して取り組んでいる。また交流人口の増加を図ることで移住・定住に繋がれば、産業全般の維持発展、財力確保にも寄与するものと考えている。

質問 確かに、どこかの分野にだけ肩入れするのは得策ではない。ただし、町を維持する施策には順序が大切。

人口には定住人口と交流人口があり、その獲得には

それぞれ違った施策が必要となる。定住者を獲得するには、多額の費用と時間を要することが多い。よって、まずは交流人口の増加を図るべきと考える。将来予想される奈義町存続の危機に對して、柔軟性をもった対策が立てられるよう、いまから「観光による交流人口の確保」に向けて傾注すべきと考えるが。

答弁 町長 交流人口も定住人口も、その増やし方については根本的に同じであると考えている。若者が離れない、奈義町に愛着をもって住んでもらうことが大切であり、来町者に気に入ってもらえるようなまちづくりを心掛ける。

Q 求められる子どももの理想像は

A 奈義町の未来を考える子どもを

質問 国の方針に則り、IGAスクール構想の実現が進められている。いろいろ

るな課題があると思うが、最大の課題は電子機器の発達による利便性の向上により、子どもたちがますます都会へと夢の視線の先を向けることにあると考える。教育を取り巻く環境というのは時代とともに大きく変わり、そこで求められる教育の理想像というものも変化を続けている。これからの時代、こういった人材を育てていくことが将来の奈義町に寄与することになると考えるか。

答弁 教育長 教育の内容が年々変化していることは間違いない。そのなかで、あくまでも教育は子どもたちの幸せのため、子どもたちの今後の未来のために行なっていく。地域との連携を図り、生活と結びついた学習をすることで、奈義町を誇りに思い、自分の力を発揮する場所を探し、将来もたげられるような子どもたちを育てていきたい。

※その他、コロナ対策についての質問をした。



定森 廉敏 議員

Q 津山に奈義寮をつくれなにか

A 各学校の寮を利用して

質問 未来基金は、寮
と考える。
中で成長していくもの
と考える。
ある。バス通学、寮な
ど、それぞれの経験の
と考える。
友達と触れ合うことな
ど得ることもたくさん
ある。バス通学、寮な
ど、それぞれの経験の
と考える。

質問 寮に入ること
により、バス通学の時間
を有効に利用できるの
ではないか。
外から支えていける人になっ
てもらいたい。

質問 寮に入ること
により、バス通学の時間
を有効に利用できるの
ではないか。
外から支えていける人になっ
てもらいたい。

質問 寮に入ること
により、バス通学の時間
を有効に利用できるの
ではないか。
外から支えていける人になっ
てもらいたい。

質問 保・幼・小・中と一
貫教育ができてつある。津
山に奈義寮を建設してはど
うか。生徒達が絆を深め、
奈義町の良さを知り、将来
奈義町に帰ってくることに
つながらないか。



樹木粉碎機で作業中

質問 高校生の実態調査や
保護者に寮建設の意向調査
はできないか。
だが、今後、子どもたちが
保護者の意向も伺いながら
考えさせていただく。

質問 寮をつくる財源とし
て、他に考えられるものは
ないか。
基金、地域福祉基金の活用
も考えられる。

質問 寮をつくる財源とし
て、他に考えられるものは
ないか。
基金、地域福祉基金の活用
も考えられる。

質問 竹チップを保管してい
る。今年度は竹チップによ
る米や野菜の栽培に向けた
土壌改良効果を検証する方
向で考えている。竹の主要
成分は雑草の抑制効果も報
告されている。調査研究を
続けたい。

質問 竹チップを保管してい
る。今年度は竹チップによ
る米や野菜の栽培に向けた
土壌改良効果を検証する方
向で考えている。竹の主要
成分は雑草の抑制効果も報
告されている。調査研究を
続けたい。

質問 竹林を伐採、チップ化を
進めている。
伐採により、現在約3・6
tの竹チップを保管してい
る。今年度は竹チップによ
る米や野菜の栽培に向けた
土壌改良効果を検証する方
向で考えている。竹の主要
成分は雑草の抑制効果も報
告されている。調査研究を
続けたい。

質問 竹林を利用した農畜
産連携パイロット事業の現
状はどうなっているか。
竹林の活用を道を探るた
め、竹の成分について研究
してはどうか。

質問 竹林を利用した農畜
産連携パイロット事業の現
状はどうなっているか。
竹林の活用を道を探るた
め、竹の成分について研究
してはどうか。

Q 地方創生事業の
竹林を利用した
事業は
A 農畜産業と連携
し、実証研究中だ



竹チップ作業現場



保管した竹チップ

Q 今こそ地域づくりのチャンスでは

A 地域づくりを確実に進め、奈義町ファンを増やしたい



中井 泰洋 議員

質問 コロナウイルス感染症の影響により、都会ではなく田舎の価値が見直されてきている。

今こそ、地域づくりのチャンスではないかと思うが、町長の考えは。

また、どの自治体も地域の情報発信が極端に少なくなっているように見受けられる。情報発信は今まで以上に行うべきだと思うがどうか。

答弁 町長 コロナ禍において新しい生活様式が推奨され、住宅のみならず、場所を選ばず働くことができ、リモートワークやオンライン会議が普及している。感染防止対策との両立が求められる飲食、買い物、スポーツ、レジャーなどで新しい生活様式の変化が起きている。そして人の生き方、人生そのものの見直しによる田舎で生きることの価値の再認識など、今後地域への人、物、金の移動が加速していくと感じている。

今後さらに、地域づくりを確実に進めることで満足

度を高め、まちづくりの理念、子育て、景観、町民性などに共感してもらえるファンを増やし、定住、移住に結び付けたい。

また、コロナ禍において、町内外への情報発信は非常に大切と考えている。ホームページやメディアを活用した情報発信に努めているが、アプリケーション開発等新たな手段にも取り組んで、魅力の発信に努めたい。

Q 大学生のインターンシップを A 取り組みたい

質問 新型コロナウイルス感染症対策事業として、町内出身者の大学生等の臨時雇用が行われた。

今後の人材確保、情報発信、将来を見据えた人のつながりを作るためにも、町外居住者、町外出身者のインターンシップを行ってみたいかどうか。

答弁 町長 提案のとおり、将来を見据えた人材の確保、

育成を図るためにもインターンシップを受け入れ、仕事を通じて深く奈義町を知ってもらおう、魅力を体験してもらうことも重要と考える。

次年度以降も、大学生等の臨時雇用、職場体験としてのインターンシップの受け入れに取り組んでいきたい。

Q プロポーザル方式のこれからの活用は A 契約方法を検討し、採用したい

答弁 情報企画課長 業務の質を確保することが大前提ではあるが、民間の持つ高い技術力、独自のノウハウが期待できる業務、細やかな仕様を定めて発注することが困難な業務など、個別案件ごとに契約方法を検討し、プロポーザル方式を採用したい。

質問 これからプロポーザル方式はどのように活用していくのか。



こども園プロポーザル



岡部 英生 議員

Q 教育施設の水道蛇口を自動水栓化に

A 自動式、レバー式、回転式に順次交換する



早期の自動水栓化を

答弁 町長 コロナウイルス感染症対策事業に係る経済効果については、4月、6月と実

質問 終息の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症対策に、当町も緊急地域経済活性化対策給付金事業、子育て世代学校等教育支援事業、事業者対象の応援給付金事業、飲食店等支援事業等々、34事業の支援事業を実施しているが、経済効果は出ているか。

Q コロナウイルス感染症対策支援策の経済効果は出ているか
A 一定の効果は出ていると認識している

質問 コロナウイルス、インフルエンザ等の予防対策のため、幼稚園、小・中学校の各水道の蛇口を自動水栓化にすることを強く求める。

答弁 町長 小・中学校については場所の選定を行い、自動式、レバー式、回転式のさび分けをし、今年度中に行けるところから順次交換を進めていく。

また、幼稚園については蛇口をひねるといふ行為が教育の一つであるという考え方もあり、教育委員会そ

して教育現場、幼稚園とも調整を行い進めていく。その他の公共施設についても検討するべきと考えている。

施した緊急経済活性化対策給付金事業、同じく高齢者応援事業、飲食店等支援事業などの町内でお金が使用される事業については、合計で約1億1000万円のお金が町内で消費され、一定の経済効果は出ていると認識している。

Q 新学習指導要領への取り組みは順調に推移しているのか
A 昨年度から移行期間で既に組んでいる

質問 新学習指導要領の改正案は、小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から実施され、ゆとり教育から学びの質を改善、主体的、対話的で深い学びを目指すこととされている。それら

の対策や取り組みは順調に推移しているか。
答弁 教育長 学習指導要領は、住んでいる場所にかかわらず、日本のどの地域でも一定水準の教育が受けられるよう、学校が教育課程を編成する際の基準を定めたものである。
今回の改訂では何を学ぶかだけでなく、どのように学ぶかを重視した授業改善である。いわゆるアクティブラーニングということである。

小学校、中学校とも既に昨年度から移行期間として主体的、対話的で深い学びの授業展開に取り組んでいる。

新学習指導要領が目指す、
①学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性
②実際の社会や生活で生きて働く知識・技能
③未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力
この3つの力をバランスよく育てる教育に取り組む。

Q 大規模な認定こども園の安全性は大丈夫か



森藤 政憲 議員

A 安全に配慮した運用に努める



認定こども園の保育士さんと呼んでの学習会
(8月21日) - 森藤議員主催 -

質問 認定こども園について、教育改革プラン（案）に対する答申書では、2園での建設が望ましいとの結論が出ている。その後、1園の建設に変わっている。大規模園は、子どもの安全や教育・保育に課題がある、と答申書は指摘している。どう考えるか。

答弁 町長 250人規模のこども園の運営が見込まれるが、見守り体制や安全に配慮した運用に努めたい。
質問 一人当たりの敷地面積は、現行（2幼稚園、1保育園）と比べ、認定こども園になると、60%以下と

なる。コロナ対策の「密」を避ける、との考えからも逆行するのではないか。

答弁 町長 構想の段階から、北側の芝生広場が子ども遊び場になり、密度は下がると思っている。

質問 中学校建設の事が町長は頭にはないのではないかと。県下で唯一、耐震化が残っている。大変なことだ。

ここまで遅れたのには、中学校の移転問題があったからだと考える。町長は責任を感じないか。

答弁 町長 中学校の事が頭に抜けてしまっていると。の事だが、そんな事はない。早く建設しなければ、と思っている。（責任については）当時、町職員として町の方針に従ってやったという事で、私に決裁権はなかった。

Q 議会に、あとから報告することがあるが、問題ではないか、理解頂いている、と思っっている

質問 ナギフト加盟店の月額500円の利用料を町が負担し無料にしたとか、町職員の青色ポロシャツを町が買った事など、議会に説明、報告をせずに実施されている。これは、おかしいのではないか。

答弁 町長 議会にはナギフトカードによって給付を行う事は充分説明をしており、理解を頂いていると考えている。ポロシャツについては、職員の互助会から50万円を寄附してもらっており、これに充てる形で（町が）購入した。

Q 55%に及ぶ「電子マネーは必要ない」の声にどう応えるのか
A 二十数%の必要との声にも応えなければならぬ

た。昨年8月に、町が行った町民アンケートでは、電子マネーが「必要」が23%、「必要ない」が55%となっている。この55%の声に答えるのが町長の責任ではないか。
答弁 町長 電子マネーは、なぎポストで実施できるよいう話を進めてきたが、中国財務局との協議で、奈義町が主体で発行するのが適切との見解をもらった。12月議会に条例を提出したい。アンケートでは、必要との声が二十数%あり、それにも応えなければならぬ。電子マネーはコロナ禍の中で、効果を発揮するものと考えている。

その他、気候非常事態宣言を行うべき、との質問を行い、前向きに検討すると答弁を得た。

質問 これまでは、なぎポストで電子マネーを行いたいと述べてきたが、町主体で取り組む、との報告があっ



芦田 一郎 議員

Q 新型コロナの終息が長引いた場合の対策は

A 最新の機器、人員の配置も含め検討する



なぎビカリアミュージアム

今後コロナ禍のなかで「なぎビカリアミュージアム」の活動で見えたことについて。彼岸を含んだ4連休では、自粛解除もあり、ゴールデンウィーク並みの人出だった。しかし、岡山県南部や、近県の方が多く、地元・奈義町の方は少ないという状況にある。地元の方に文化的価値や芸術的価値を知ってもらう方向づけができたか。

「なぎの子じゅく」などの親子等で学習できるイベントで、ビカリアミュージアムと連携することで、より広い世代の方々にも興味を持っていただけると考えている。生涯学習課の指導により、クラスターとならないように安全が保たれている。しかし、今後もコロナウイルスの終息がなければ、土日祝日には、検温係をつけなければならぬ。現状の設備で来館者自身に検温してもらい自己申告を、とも思

客様にしてもらってはならないとされている。今後終息がなく、長引いた場合の考えを伺う。町としては、開館している以上は、皆様に安心してご利用していただくために、お客様自身が検温して自己申告をしていただくというのは、責任ある立場として行うわけにはいかない。今後、最新の機器の導入あるいは人員の配置も含め検討する。

況にある。地元の方に文化的価値や芸術的価値を知ってもらう方向づけができたか。

生涯学習教室の「なぎの子じゅく」などの親子等で学習できるイベントで、ビカリアミュージアムと連携することで、より広い世代の方々にも興味を持っていただけると考えている。

客様にしてもらってはならないとされている。今後終息がなく、長引いた場合の考えを伺う。町としては、開館している以上は、皆様に安心してご利用していただくために、お客様自身が検温して自己申告をしていただくというのは、責任ある立場として行うわけにはいかない。今後、最新の機器の導入あるいは人員の配置も含め検討する。



親子で学ぶビカリア

Q 町のコロナ対策の広報は充分か

A 情報提供等いっそう努力する



岡 立議員

質問 奈義町は、いち早くコロナウイルス対策を打ち出し、多くの事業を進めてきたが、施策はうまく機能しているか。

答弁 町長 一定の効果はあったと思うが、全ての事業が有機的に連動して機能したかはまだ分からない。今後も検証しながら対応していく。

質問 ナギフトカードの使い方がわかりにくい人もある。その後のフォローはできているか。また、国からの10万円は、全員に届いているか。

答弁 町長 国からの10万円は、行方がわからない方が辞退された方を除き全ての方に給付できた。高齢者には電話や訪問でサポートしている。

質問 本当に困っている人には、情報も届きにくい。しっかりしたフォローが必要ではないか。

答弁 町長 様々な手段で情報発信に努める。

質問 今後のウィズコロナ対策は。

答弁 町長 年が明けたら、徐々にイベント等の再開をしたい。歌舞伎もウェブ配信をする予定である。

質問 ウェブ配信を見るには、スマホやパソコン、タブレットが上手に使える必要がある。持っていない人も多い。活用を促す必要があると思うが、どうか。

答弁 町長 そういうこともしっかり注意してやりたい。歌舞伎についてはDVDに焼き直して見てもらうなど方法を考えたい。

質問 年が明けるとすぐに成人式だが、ウィズコロナ対策で三密を避け、25歳くらいでミニ同窓会などしてみても良いのではないか。



ユーチューブ配信—歌舞伎

答弁 町長 考え方には共感する。いつ、誰がするかということも大切なので検討してみる。

質問 夏まつりも、2年続けて中止となり、来年もできるかどうか分からない。祭りではできなくても、花火だけでもできないか。花火は、気持ちも晴れ、コロナのストレス発散にもなる。

答弁 町長 予算のこともあるので、皆さんと相談しながら検討する。

質問 社会福祉協議会でヘルパー事業が始まったが、現在の状況は。

答弁 町長 利用者3名にヘルパー3名で対応している。走り出したばかりなので、もう少し長い目で見ていただきたい。

質問 今後は、高齢化も進み、一人暮らしが増えてくる。もう少しきめの細かい支援のできる対策が必要ではないか。

答弁 町長 自助、共助、公助ということで、町としてできることは考えていきたいが、限度がある。それぞれの役割を分担し、補い合いながらやれたらと思う。

Q ヘルパー事業の
今後は
A 始まったばかり。
もう少し長い目で



新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)

委員会報告

総務常任委員会報告

人事評価制度

9月3日、町長、副町長、教育長、担当課長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行った。

主な質疑は次の通り。

問…人事評価について。評価の高い職員は勤勉手当が上がる。適正な評価になるのか。

答…当然評価の高い低いは出てくる。偏った評価にならないように行う。

問…町有財産の無償貸付けについて。対象が曖昧なところがあり、拡大される可能性があるのでは。

答…公益ということがひとつ大きなことになる。拡大解釈にならないように対応したい。

9月3日、町長、副町長、教育長、担当課長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行った。

主な質疑は次の通り。

問…認定こども園とチャイルドの相談機能がダブルでくるが整合性は。

答…こども園の相談機能は確保する。利用される方が最も使いやすい体制をつくっていく。

9月17日、奈義町職員給与に関する条例の一部を改正する条例について、総務課長、法制執務担当者出席のもと委員会を開催した。

人事評価制度の本来の在り方、条例改正の時期について等、それぞれ質疑があったが、今回の条例改正の趣旨を踏まえ採決を行うべきとの意見があり、採決を行った。挙手多数で、委員会としては同条例の一部を改正する条例について可決との結論に至った。

まちづくり常任委員会報告

ナギフトマネー

9月4日、町長、副町長、担当課長、出納室長出席のもと、所管事務の調査を行った。

主な質疑は次の通り。

問…空き家の寄附について。中島の物件以外にあるのか。

答…具体的な相談を受けているのが滝本で1件。その他、問合せが何件かある。

問…ナギフトマネーはプリペイドカードみたいなものと考えていいのか。

答…プリペイドカードと同じだと思う。

問…ナギフトマネーにお金を預けた時の手数料は町が負担しているのか。

答…手数料を発生させることは考えていない。

問…ナギフトマネーは役場で入金できるのか。

答…基本的には、役場、加盟店どこでも入金できる取り扱いにしたい。

問…ナギフトマネーの本格的運用はいつからになるのか。

答…12月議会をめどに条例等を整備していきたい。

問…地域おこし協力隊について。3年後自立して生活できることを第一に考えて仕事をしてもらえように町は良く考えてほしい。

答…本人の希望に沿うよう、3年間しっかり奈義町で関わりを持ってもらい、任期後も奈義町で定住してもらえように応援したい。

問…なぎびーフ消費拡大推進事業について、説明を詳しく。

答…飲食店は、指定された金額の範囲内で必要な部位を仕入れてもらい、通常より安価でメニューを作ってもらおう。

販売店は、指定された

金額の範囲内で仕入れてもらい、それに町内でもれた野菜などを付けて創意工夫を凝らし提供してもらおう。この機会に県南からの誘客を推進し、品質の良さを再認識してもらい知名度アップを狙う。仕入価格の4割を町が補助する。

こども園、中学校建設調査特別委員会報告

8月12日、委員全員、町長、副町長、教育長、関係課長出席のもと、委員会を開催した。こども園用地のかさ上げについて説明を受けた。約1・1mのかさ上げを行い、一部は建設残土を流用することだった。

委員からは、かさ上げをするものの効果、今後のスケジュール、設計との関係等について質問があり、それぞれ答弁があった。

組合議会の報告

津山圏域 事務組合

7月16日、臨時会を開催。岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の變更及び組合を組織する地方公共団体数の減少並びに組合規約の變更について、議案を審議し承認した。

(若田議員)

津山圏域 消防組合

7月16日、臨時会を開催。高規格救急自動車の購入、津山圏域消防組合日本原分署新築工事請負契約等の議案を審議し、それぞれ原案のとおり可決した。

また8月7日、津山圏域消防組合日本原分署の移転に伴い、安全祈願祭が開催された。

(上原議員)

勝英衛 衛生組合 施設

10月14日、定例会を開催。

令和元年度の決算を認定した。

歳入 1億524万円
歳出 8673万円
繰越額 1851万円
令和2年度補正予算は歳入歳出それぞれ1054万円を追加し可決した。

(鷹取、中井議員)

消防小型ポンプ披露会



ポンプ披露会

ポンプは主に消防団の訓練に使用され、消防団本部が管理する。

8月2日、旧津山圏域東部衛生施設敷地内において、町が

新たに購入した消防小型ポンプの消防団による実演披露会が開催された。

医療従事者に感謝



議会、執行部揃って医療従事者への感謝を示すため青いポロシャツを着用（第3回定例会開会日）

令和2年度前期分政務活動費一覧表

(令和2年4月～9月)
使用実績のあった議員のみ記載

議員氏名	収支報告額(実績) 単位:円					支給決定額	政務活動費の主な使い道
	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	合計		
小阪 四郎			17,780		17,780	17,780	「地方議会人」他購読料
鷹取 渡			6,636		6,636	6,636	「地方議会人」他購読料
森藤 政憲	30,840	68,597		9,190	108,627	60,000	議会報告会開催、「森藤まさのり議会だより」発行他
計	30,840	68,597	24,416	9,190	133,043	84,416	

編集後記

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、季節はめぐり紅葉の秋も深まり、食べ物もおいしくなり、過ごしやすい今日この頃。奈義町ではコロナ感染症対策の備えも充分行われ、安全安心を担保しています。一部の野菜や果樹で酷暑、乾燥によりできばえの悪いものもありますが、広島風も発生せず、ほぼ豊作と言えるでしょう。町民の皆様にはすこやかに過ごされますように願っています。

(小阪四郎)

【編集委員】

委員長 小阪 四郎
副委員長 中井 泰洋
委員 鷹取 廉渡
委員 上原 伸介
議長 岡 親佐